

2023年4月25日

サステナビリティ経営の実現を目指す森永乳業グループ “私たち”と“人びと”のウェルビーイングの好循環を目指して 「日本版 Well-being Initiative」に参画

森永乳業株式会社(本社:東京都港区、社長:大貫陽一)は、日本経済新聞社と公益財団法人 Well-being for Planet Earth、有志の企業や有識者・団体等が連携して発足した「日本版 Well-being Initiative」に2023年4月25日より参画いたします。



当社はこれまでも、ダイバーシティ&インクルージョンや健康経営の推進、安全な職場環境の整備や柔軟な働き方の浸透、学習機会の提供により、働きがいのある仕事を実現するとともに、多様な人財育成に努めてまいりました。また2022年には経済産業省及び金融庁をオブザーバーとする「人的資本経営コンソーシアム」に参画し、人的資本への一層の投資や適切な情報開示により、新たな価値の創造と持続的な成長を目指しています。

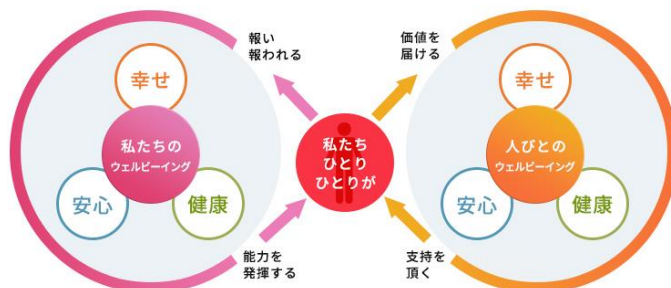
2023年はウェルビーイングへの取り組みを本格始動させるべく、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、コーポレートミッションの実現にむけウェルビーイングステートメントを3月に策定しました。

「日本版 Well-being Initiative」は、日本において Well-being 経営を行う企業を増やし、今後の経済における組織の長期的な価値創造および価値評価のあり方を提示することを目的に2021年創設された企業コンソーシアムであり、当社グループは今後、参画している企業、団体とともに、産学官連携を通じたウェルビーイングの実践を目指してまいります。

「日本版 Well-being Initiative」公式サイト <https://well-being.nikkei.com/>

■森永乳業グループのウェルビーイングステートメント

当社グループではウェルビーイングを「将来にわたってよりよく生き続けること、すなわち健康で幸せな生活を送り続けること」と定義し、私たち自身のウェルビーイングを実現することが人びとのウェルビーイングにもつながると考え、“私たち”と“人びと”の2軸で構成しました。私たちひとりひとりが、個性と能力を発揮し、当社グループならではの価値をお届けすることで人びとから支持を頂き、報い報われるウェルビーイングの好循環を目指します。



〈1章〉 私たちがよりよく生き続けるために

「私たちの安心のために」

私たちは、ハード・ソフト両面で安全な職場環境づくり、公私の充実のもとで働き続けられる会社を目指します。

- 全員で安全衛生活動に取り組み、「安全第一」「労災ゼロ」を目指し続けます。
- ひとりひとりがお互いを尊重し、対話を重視する組織を形成します。
- 仕事と生活の質を主体的に高めていく、ワークライフマネジメントを実践します。

「私たちの健康のために」

私たちはこれからも、自身とその家族が心身を大切にすることを支援し続けます。

- 健康経営プログラムを推進し、ひとりひとりの健康課題に寄り添いながら、心身の健康の維持、増進を目指します。
- 私たちとその家族が自社商品やサービスに触れやすい環境を目指します。
- 栄養や機能性素材に関する正しい情報を共有し、私たちとその家族が自身の健康に関心を持ち、気づきを得る機会を提供します。

「私たちの幸せのために」

私たちは、ひとりひとりが誇りをもって仕事に取り組み、働きがいを感じられる会社を目指します。

- ひとりひとりの主体性・自律性を育成し、成長を実感できる機会を提供し続ける組織を形成します。
- 挑戦を後押しする風土を醸成し、ひとりひとりが個性と能力を発揮し続けます。
- 会社は、年齢や性別等を問わず、役割・貢献に応じた処遇を目指します。

〈2章〉 人びとがよりよく生き続けるために

「人びとの安心のために」

私たちはこれからも、安全な商品やサービスの安定供給にこだわり、分かりやすい情報をお届けし続けます。

- 人びとの健康と幸せに貢献し続けるために、健全な企業活動を遂行し続けます。
- お客様やお取引先に提供する商品やサービスの安全を保証し続けます。
- サプライチェーン全体の安定のために最善を尽くします。
- お客様からの声に真摯に向き合い、安心につながるような商品やサービスの改善を続け、透明性・追跡性の確保に努めます。

「人びとの健康のために」

私たちはより一層、乳の優れた栄養や独自の機能性素材にこだわり、世界中の人々の健康に貢献します。

- 生まれる前から生涯にわたって、あらゆる世代への「栄養の架け橋」を築いていきます。
- ひとりでも多くの人に商品が届くよう、多様な手段・多様な国での提供を目指します。
- 低栄養と過栄養の課題に対して、適切な栄養摂取を促す商品提供や啓発活動に取り組みます。
- 心身に関する様々なお悩みに対して、独自の機能性素材を活用した商品を提供します。
- 栄養や機能性素材に関する正しい情報を発信し、人びとが自身の健康に関心を持ち、気づきを得る機会を提供します。

「人びとの幸せのために」

私たちはこれからも、家族や友人とつながれるおいしさ・楽しさにこだわり、日々の食シーンに豊かさを提供し続けます。

- 何度でも繰り返し体験したくなる「大好きなおいしさ」、日々の喫食を自然と「続けられるおいしさ」、おいしさから生まれる「楽しさの連鎖」を追求します。
- ひとりひとりのライフステージと食嗜好に寄り添った商品ラインナップと多様なコミュニケーションの実践を目指します。
- 商品のライフサイクル（原材料調達⇒製造⇒使用⇒廃棄）全てにおいて、「次世代にやさしく」を意識します。

森永乳業企業サイト<ウェルビーイング> <https://www.morinagamilk.co.jp/corporate/vision/>

■ 森永乳業グループのウェルビーイングの取り組み

2022年8月 ウェルビーイングステートメント検討会の発足

- ・ 社員、生活者(国内)、生活者(海外)、栄養、4つのワーキンググループに分かれて総勢16名で始動
- ・ ウェルビーイングに繋がる要素を把握するため森永乳業グループ社員にアンケートを実施

2022年11月 ウェルビーイングステートメント案作成

- ・ 8月に実施したアンケート結果から「安心」「健康」「幸せ」の3つの因子がウェルビーイングに影響していることが判明。その3つの因子を基に、ステートメント案を作成。
- ・ 社内アンケートにてステートメント案への共感性・独自性・参画可能性を調査
- ・ 社内審議

2023年1月 ウェルビーイングステートメント確定

発信、浸透準備、実践準備、翻訳の4つのワーキンググループに分かれて継続活動

2023年3月 ウェルビーイングステートメント社内外公開

2023年4月 「日本版 Well-being Initiative」参画

■森永乳業グループのサステナビリティ経営 理念-活動体系図

私たちは、あらゆるステークホルダーのかがやく“笑顔”のために、基盤となるコーポレートガバナンスをはじめ、「食と健康」「資源と環境」「人と社会」という3つのテーマを軸に活動を行い、サステナビリティビジョンの実現を目指します。

